

## 令和3年沼津市教育委員会 第10回定例会会議録

- 1 日 時 令和3年11月17日(木)  
午後3時00分～午後4時52分
- 2 場 所 沼津市役所3階 第3・4委員会室
- 3 日 程
  - (1) 開会
  - (2) 会議録署名人の指名(土屋委員 佐藤委員)
  - (3) 新任教育委員及び教育長職務代理者の紹介
  - (4) 教育長報告
  - (5) 議案
  - (6) 報告事項  
報告事項1 令和3年9月市議会定例会一般質問等について  
報告事項2 令和3年度 第38回 沼津市小・中学生科学研究奨励賞について  
報告事項3 令和4年二十歳の集い及び新成人議会について
  - (7) その他  
～現役高校生が「SDGs」を語り合う～「2021 高校生しゃべり場 in ぬまづ」開催について
  - (8) 協議事項  
協議第10号 沼津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
  - (9) 報告事項  
報告事項4 沼津市のいじめ・不登校の状況について  
報告事項5 第3次沼津市子ども読書活動推進計画(案)に係るパブリック・コメントの実施について  
報告事項6 令和3年度全国学力・学習状況調査について
- 4 出席者等  
教育長 奥村篤、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 重光純、委員 佐藤清子、  
教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 遠藤宗男、  
教育企画課長 矢田陽子、学校管理課長 望月浩司、沼津市立沼津高等学校長 小林浩明、  
沼津市立沼津高等学校事務長 大沼政彦、教職員研修センター所長 宮原真紀、  
文化振興課長 林敬博、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、  
学校教育課副参事(教職員担当)兼教育委員会青少年教育センター所長 本杉淳、  
図書館事務長 勝又恵三、子育て支援課長 朝倉美晴、  
学校教育課長補佐兼学校給食室長 渡邊芳久、教職員研修センター指導主事 三宅くるみ  
図書館事務長補佐 中川啓史、調整担当・教育企画課長補佐 宇佐美利香、  
教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課指導主事 松岡ミユキ、  
教育企画課指導主事 岩本智明

## 5 会議内容

### (1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 本日午前中に今沢小学校を訪問し、令和3年度の市内全ての学校訪問が終了した。小学校20校、沼津市立高校中等部を含め中学校15校、小中一貫学校3校の計38校に訪問した。2学期に10校の学校訪問を計画していたが、9月は緊急事態宣言が発令中だったため、解除後に再開し本日終了した。自粛や抑制、新しい生活様式の下での子供たちの表れだが、コロナ禍でも学校は実りの秋を迎えており、どの教室からも学びに向かう真剣なまなざしや学びを楽しむ様子が見られた。1人1台端末のクロームブックを多くの先生方が工夫して活用し、小学校1、2年生も慣れた手つきで操作しており、GIGAスクール構想の実現は着実に目に見えるものとなっている。どの学校においても、全ての先生が子供たちと端末を積極的に使用し、これまでの実践と最適に組み合わせて有効活用する方法を見出していくことに、非常に期待が膨らんだ。来年度も教育委員会で学校訪問を計画するが、その辺りの報告を楽しみにしていただきたい。

### (2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、佐藤委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

### (3) 新任教育委員及び教育長職務代理者の紹介

奥村教育長より、10月25日付けで三好委員が任期満了で退任したため、10月26日からの教育長職務代理者は土屋委員を指名し、新任教育委員に佐藤委員が着任したことが報告される。

### (4) 教育長報告

奥村教育長 10月8日の今年度第2回教頭会で「これからの教育界にさらに求められるものとは何か」と題して、大谷翔平選手に触れながら話をした。その一部を紹介する。周知のとおり、エンゼルスの大谷翔平選手は、今年のア・リーグMVP最終候補に選出され、その発表が11月19日に迫っている。10月4日に今シーズンを終え、投手として9勝2敗、156奪三振、打者としては打率.257、46本塁打、100打点、26盗塁の結果を残した。長い歴史と伝統を持つアメリカ球界でも異例のスーパースターとして、大谷翔平選手が連日多くのタイトル等を受賞している姿を誇らしく感じる。「千里の馬は常にあれども伯楽は常にあらず」という中国のことわざがある。「千里の馬」は、一日に千里も走れるほどの優れた馬であり、転じて、優れた才能の人物を意味する。「伯楽」は、牛馬の良し悪しを見分ける名人であり、転じて、人物を見抜いて、その才能を引き出し育てる優れた指導者のことである。つまり、いつの時代にも、一日に千里を走るほどの優れた馬はいるが、その名馬の能力を引き出す伯楽は、いつもいるわけではない。大谷選手は、どんなに厳しくとも高校卒業後の大リーグ挑戦を望んでいた。しかし、日本ハム球団が彼の身体能力や可能性を信じ、ドラフト1位指名した上で、常識では考えもしない二刀流の希望を受け入れた。その後、幼い頃から夢見たメジャーリーグへ移籍し、エンゼルス球団での二刀流大谷翔平選手が誕生した。大リーグで野球の神様と称えられるベー

ブ・ルースの二刀流の偉業を、100年後の今、塗り替えようとしている現実、彼のひたむきな努力はもとより、大きな視野でマイナスの先入観を持たずに二刀流を受け入れた日本ハム球団の先見性の結果である。では、これからの教育界にさらに求められるものは何か。我が国は、人生100年時代を迎えようとしている。急激な少子高齢化やデジタル化等の技術革新、グローバル化等に伴い、社会環境がどれほど激しく変化しようとも、心の豊かさに繋がる教育の根本理念は変わらない。どのような分野においても、一人一人の子供が抱く夢や好奇心の先には、次なる大谷翔平選手が誕生するチャンスがあると示すことが、我々の使命ではないかと思う。常識にとらわれずに多様性を認め、その価値観を受け入れる柔軟性と既存概念からの脱却が、これからの教育界にさらに求められるものだと話した。教頭先生方にオンラインで伝えたが、受け止めていただいたと思う。

10月26日に国土交通省主催の防災・河川環境教育公開授業が大岡南小学校で行われ、4年生の公開授業を参観した。折しも7月の豪雨で浸水、あるいは黄瀬川大橋の崩落等があり、大岡南小の子供たちにとって非常に身近な問題、切実感のある授業であった。温暖化の影響で線状降水帯、梅雨前線の北上、大雨特別警報、大型台風等、今後も豪雨災害は拡大する。NHKのアナウンサーに、「命を守る行動を取ってください」と画面越しに言われた時は狼狽した。自分の身を自分で守るためには、子供の時から自分で考え自分で判断し行動する力が求められる。指示待ちでは命を失うこともある。主体性の育成と他者との関わりの中で考える命の教育や防災教育の重要性について、感想を述べた。子供たちは、避難所を知る、情報を得る、状況によって家の中での安全な場所である2階に逃げる、いわゆる垂直避難をする等が重要だと発言していた。また、災害時に避難誘導や救助をしてくれる人たちの存在を知り行政への関心が高まったことや、要配慮者への優先にも触れていた。防災に限らず防犯においても、早い段階から自分の身は自分で守る意識を持ち、主体的に判断し行動できる子供たちを育てていく。教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程（5）議案は、本日は案件なし。

<報告>

奥村教育長 日程（6）報告事項である。

報告事項1 令和3年9月市議会定例会一般質問等について

<本会議で行われた代表質問等について報告する。2人の議員から、第一・第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化について、児童生徒の登下校時の安全確保について、GIGAスクール構想について等の質問があり、教育長が答弁を行った。>

(教育次長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。

- 土屋委員 通学路における危険防止についてだが、9月の黄瀬川大橋崩落後、仮橋ができるまでの1か月程は、全車両が旧道を通行しており、朝等の通学時、子供たちがとても危険だと思った。しかし、その間は毎朝、警察官数名が通学路を見守っており安堵したが、仮橋完成後、それがなくなった。バスやトラック等の大型車は、仮橋の通行が禁止のため、全て旧道を通る。大型車が行き交う中での子供たちの通学が心配である。橋の完成まで3、4年かかるため、その間ずっと大型車の交通量が多い状況が続く。事故が起きてからでは遅いので、学校からの注意喚起をお願いしたい。
- 学校教育課長 御指摘感謝する。当初学校でも、地域の見守りの方に御協力いただき、登下校の見守りを手厚く行った。そのような危険がまだあることを学校に伝え、今後とも事故が起きないように引き続き見守りを行う。
- 奥村教育長 毎日バスで旧道を通っているが、歩道が非常に狭く、高校生が自転車で通ることもある。小中高生が狭い道を通学に使っており非常に危険である。大岡中、大岡南小の子供たちには、この状況がしばらく続くため危険防止をお願いする。
- 重光委員 2学期からクロームブックでA I ドリルを使い始め、子供が家でもA I ドリルをやっている。学校にはノーデジタルメディアデーがあり、テレビやパソコンを使用しないようにする日を設定しているが、I C T教育という形で急にA I ドリルの活用が始まった。保護者の立場から言うと、子供がクロームブックを使っている時、勉強しているのか分りにくい。保護者から端末の持ち帰りをしてほしいと要望があったと聞いている。子供が実際に何をしているかわからず、YouTube等に長時間を費やすのではないかと懸念している。まだ導入段階で難しいと思うが、子供がクロームブックで行っていることを保護者が監督できるシステムを考えてほしい。子供にとってインターネットは無限のおもちゃ箱である。ネット依存症に陥る可能性も十分ある。A I を活用したI C T教育も重要だと思うが、子供がデジタル漬けになる弊害もありうることを念頭に置いたうえで、今後の取組を続けてほしい。
- 学校教育課長 学校では、子供たちにいち早くクロームブックに慣れてもらうために、持ち帰りを先行し、家庭でもYouTube等の視聴を行ってきた。各学校で、使用方法のルール化、または、家庭での視聴に関して適切な指示を出す段階である。市教委から学校へ今回の御指摘や保護者の心配を伝え、節度ある適切な使い方に収まるように継続して指導していきたい。また、ネットモラルに関する教育も継続して取り組んでいく。
- 奥村教育長 他県では、1人1台端末でのメールのやり取りによる誹謗中傷で自ら命を絶つ事件も起きている。学校では、情報モラルや情報セキュリティの面も合わせて繰り返し丁寧に取り組まねばならない。そのような認識のもとで、さらなる取組の展開を望む。
- 土屋委員 9月にいじめや悩み等についてオンラインで相談できる教育委員会直通の専用WEBサイトを作成したとあるが、すでに相談はかなりあるのか。
- 学校教育課長 実際に相談があり、本人に個別に回答を返す対応を始めている。
- 奥村教育長 開設後まもなく4件ほど相談があったと聞いている。個人情報もあるが、今後可能な範囲で事例報告をお願いする。ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 令和3年度 第38回 沼津市小・中学生科学研究奨励賞について

＜市内小中学校に在籍する児童生徒による優れた科学研究を賞揚し、さらに研究心の向上発展を期することを目的とし、令和3年度第38回沼津市小中学校科学研究奨励賞を決定し表彰を行った。市内各校より、小学校63点、中学校47点、計110点の応募があり、選考の結果、小学校の部で優秀賞1点、優良賞3点、特別賞1点、中学校の部で優秀賞1点、優良賞3点の合計9点を選出した。＞  
(学校教育課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長  
重光委員 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。  
子供たちが、様々な事象に疑問や好奇心を抱き、試行錯誤しながら研究する活動は非常に重要である。このような活動を評価する機会は、今後も継続してほしい。
- 奥村教育長 特別賞の第五小学校6年生の児童は、3年生から継続して研究し、写真を用い昨年度の課題や今年度の研究方法を分かりやすくまとめている。優秀賞の金岡中3年生の生徒は、小学校3年生から、自宅の庭に巣を作った様々な種類のアリの動きに注目し、疑問に感じたことを素直に研究している。優良賞の金岡中2年生の生徒も小学校6年生からの継続研究である。子供たちは、疑問に思ったことを深く追究、探究し続けている。今後の子供たちには、このような探究力、表現力が非常に重要であるため、全ての学校で育てていきたい。疑問を持ち、それを調べ、納得し、さらに好奇心を持つことはとても大事である。昨今、日本人の大先輩方が様々な分野でノーベル賞を受賞する様子を見ると、幼い頃からそのような思いを抱いていたと聞く。自分がやっていることが、価値づけられ評価されるのは、自信、自己肯定感、有用感につながる。今後も継続して行いたい。
- 佐藤委員 息子が5年生の時に、アメリカ留学中のいところを訪ね、夏休みの自由研究として写真や資料をまとめアメリカ旅行記を提出した。当時の担任に、科学的な実験や観察を継続して行う方がより価値があると言われ、気落ちして帰宅した。貴重な体験であり、とてもよい自由研究だったと思っているが、担任の対応の仕方の子供の気持ちは変わる。先生方は適切な助言をしていると思うが、何の教科であれ、その過程も認める指導があれば、どんな分野においても子供たちの励みになる。
- 奥村教育長 言葉の持つ意味は大きい。子供の可能性を引き出し、好奇心をさらに駆り立てる言葉や表現等、人材育成の面でも、我々がとても大事にすべき部分である。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項3 令和4年二十歳の集い及び新成人議会について

＜地域独自の手作りの式典として、二十歳の集いを中学校区の地域分散方式で開催する。戸田校区は令和4年1月4日(火)、戸田以外の校区は1月9日(日)に行う予定であり、該当者数は1,703人である。責任ある大人としての自覚と市政に対する関心を喚起するため、各校区等から推薦された新成人議員による模擬議会である新成人議会を、令和4年1月9日(日)に開催する。＞  
(生涯学習課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。  
土屋委員 昨年度は新成人議会が開催されなかったが、毎年傍聴している。今年度は感染対策も必要だと思うが、いつもどおり傍聴が可能か。  
生涯学習課長 傍聴席は定員の半分にする。委員会室にモニターを用意し、入れなかった方は、そちらから傍聴していただく。  
奥村教育長 傍聴券を配布するのか。  
生涯学習課長 先着順にする予定である。  
奥村教育長 第6波やインフルエンザ流行の可能性もあるため、感染状況を見極めながらとなるが、中止にならないことを願う。何としてでも祝福をしたい思いが募る。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（7）その他である。

～現役高校生が「SDGs」を語り合う～「2021 高校生しゃべり場 in ぬまづ」開催について  
<各高校から推薦された生徒が学校の枠を超えて集まり、日頃感じていることなどの意見を自由に発表し、社会に対する意識や関心を高める場であり、今年で9回目となる。テーマは、「高校生一人一人が想うSDGs～豊かな自然・環境と共生する持続可能なまちづくり～」であり、12月19日（日）に沼津仲見世商店街で開催する。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に対する御意見、御質問はいかがか。  
仲見世商店街での開催であり、雨天でも行える。  
土屋委員 以前は屋内会場での開催であったが、屋外で行うメリットは何か。  
生涯学習課長 以前は屋内で人数を制限して行っていたが、屋外の仲見世商店街で開催することで、偶然通りがかった買い物客等が立ち止まって高校生たちの話を聞く様子が見られた。また、仲見世商店街の方々にも高校生の考え方や社会の見方を改めて認識していただけた。  
奥村教育長 昨年参加したが、高校生の視点や感性はとても新鮮であり、大人が聞くとハッとすることがある。大人たちが高校生の思いを受け入れ頼りにしていることを自覚すると、高校生たちの沼津に対する能動的な思いや意識がさらに強くなると思う。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

---

協議第10号については11月市議会定例会に上程する案件であり、公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、市議会が閉会したため公開する。

<協議>

奥村教育長 日程（8）協議事項である。

協議第10号 沼津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

＜デジタル化の推進に伴い、子ども・子育て支援新制度において、保育所、認定こども園、幼稚園、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の事業者が作成、保存等を行うものや保育所等と保護者との間の手続き等に関係するもので、書面等によることが規定又は想定されているものについて、電磁的方法による対応も可能である旨の包括的な規定を追加する。＞

(子育て支援課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。本件に対する御意見、御質問はいかがか。  
電磁的方法による対応も可能である旨の包括的な規定の追加であるが、わかりやすく言うと電磁的方法とは何か。
- 子育て支援課長 インターネット等を通じて電子メールを送信する方法やホームページに情報を掲載し、ダウンロードできる状態にしておく方法、情報を記録した磁気ディスク、CD-ROM等を交付する方法である。
- 重光委員 第53条第2項(1)アが、電子メールで送信する方法であると思うが、日常語でないため分かりにくい。イはホームページ等で閲覧を可能にする方法だと読み取れる。
- 奥村教育長 (2)はCD-ROM等で交付する方法である。これにより申請の負担軽減や簡略化ができるのか。
- 子育て支援課長 全て紙ベースであったものに電磁的方法を取り入れ、やり方を広げている。
- 奥村教育長 ほかにいかがか。御意見も尽きたようなのでお諮りする。協議第10号 沼津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について、原案のとおり11月市議会の議案として提案することとしてよいか。
- 各委員 異議なし。
- 奥村教育長 異議なしと認める。協議第10号について、原案のとおり11月市議会定例会の議案として提案することに決する。

---

報告事項4、5については11月市議会定例会で報告する事項であるため、また報告事項6については非公開情報が含まれるため、当日は非公開としたが、11月市議会定例会が閉会し、本会の質疑応答内に非公開情報は含まれなかったため、公開する。

＜報告＞

奥村教育長 日程(9)報告事項である。

報告事項4 沼津市のいじめ・不登校について

＜いじめの状況については、平成30年度から令和2年度の各年度末時点の状況を比較し、認知件数は増加傾向から減少に転じた。認知学校数も2校減少した。令和2年度は、5月まで臨時休業期間があったことに加え、学校再開に向けて

教育相談を全小中学校で実施し心のケアに努めたことで、いじめの未然防止ができたと認識している。ふざけ合い段階での事案を含め、全ての小中学校で積極的にいじめを認知する意識を高めてきたが、認知件数、認知学校数ともに前年度を下回った。不登校の状況については、平成30年度から令和2年度までの3年間で不登校者数、出現率ともに年々増加傾向である。不登校担当者研修会を通じて、不登校を継続と新規で区別した対策を考えたり、事例を用意しジェノグラムを活用した模擬ケース会議を繰り返し行ったりすることで、各校において早期段階からのチームでの対応に繋げてきた。不登校の要因は、コロナ禍による環境変化をはじめ複雑に絡み合っている場合が多いため、福祉的な視点からアプローチするスクールソーシャルワーカーを令和2年度から1人増員して対応している。今後もいじめ・不登校の未然防止と早期対応に取り組んでいく。>

(学校教育課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。令和2年度末までの継続的な数値である。令和2年度は、5月までの臨時休業の影響があると分析している。本件に関する御意見、御質問等いかがか。
- 佐藤委員 いじめの解消とあるが、どのような状態を解消としているのか。
- 学校教育課長 本人及び保護者を含め、いじめの加害、被害の双方が、解決したことを確認すること、尚且つ、それ以降3か月間いじめのない状況が継続している場合を解消と判断している。
- 佐藤委員 具体的には、謝罪等をするということか。
- 学校教育課長 謝罪して終わりではなく、双方が解決したことを納得できる状況になり、さらにその状況が3か月継続することとしている。
- 土屋委員 令和2年度のいじめの解消率が低い、何か要因があるか。
- 学校教育課長 令和2年度は、子供たちが多くのストレスを抱えていることが大変心配され、マスクによって表情を読み取ることが難しい状況が続いたため、学校に対してあえて解決を急ぎ過ぎないように指示した。解消率の数字を上げることを急がずに、子供に寄り添ってじっくりと気持ちを聞き取り、相談に乗ることを優先したことが、解消数、解消率の減少要因と考えられる。
- 奥村教育長 いじめと不登校が全くリンクしないとは思わないが、不登校者数、出現率は微増、徐々に右肩上がりである。いじめ等が原因の不登校は、他の児童生徒との人間関係がうまくいかないものも含んでいると考えられる。
- 学校教育課長 不登校といじめの関連についてここで直接結びつけるものはないが、令和2年度のコロナ禍で不登校が増加した。主な理由として、家庭で過ごす時間が長くなり、家庭内の問題が増えたことによる子供の家出の増加がある。
- 奥村教育長 保護者の不安定な精神状態が子供に影響し、家庭問題が多発している。それにより子供たちの不登校や無気力が引き起こされている。
- 重光委員 いじめについては、どんどん認知し解決に向けて動いてほしい。不登校については、昨年度はコロナの関係で学校が長期間休業になったため、子供たちが学校を休むことに対する抵抗感が若干低くなり、学校に行く習慣が少し薄れていると感じる。コロナ禍で今後の不登校増加が危惧される。学校では、個々の子供の事情を勘案しながら注意深く見てほしいと思う。

- 奥村教育長 前回も少し話したが、保護者が給食時に子供を迎えに来て自宅で昼食をとった後、再び学校へ送ってくる家庭や、学校へ行きたがる子供と行かせたくない保護者が話し合いの上折り合いをつけ、曜日によって登校する日、休む日を決めている家庭も市内にはあると聞いた。最近の新規感染者数は、静岡県全体でゼロの日が多く、沼津市内もゼロが続いている。改善の兆しも見えるが、重光委員が言うように、子供たちの生活習慣が少しずつ崩れていることも否めない。
- 重光委員 新型コロナウイルスの蔓延で学校給食が簡素化され、量が少ないという不満から、子供の登校へのモチベーションが少し下がったようである。食べるのは楽しい時間であるが、給食は黙食であり食べながら話ができない。感染症対策による行動制限で子供たちの人間関係が希薄化する予兆がある。非常に難しいと思うが、何とか一人一人の子供に気を配ってほしい。
- 学校給食室長 夏休み明けに最も新型コロナウイルス感染症が蔓延した時期は、教室内での配膳を極力減らすことで感染リスクを下げることを第一とし、給食を簡素化した。各栄養士が工夫を凝らしてメニューを考えているが、手間を減らすために通常より少なくした。現在は、通常の形に戻っている。今後も引き続き感染防止対策に万全を期し、子供たちが見た目も楽しめるような給食を提供できるよう努力する。
- 奥村教育長 今週月曜日と火曜日に学校訪問で給食を食べたが、非常に美味しかった。小学校と中学校では、カロリー計算により量に違いもあるだろうが、完食した。学校によって多少味も異なるだろうが、総じて美味しいと思う。
- 土屋委員 昔の子供たちは学校から帰宅後、クラスの友人と家を行き来して遊び、子供たち同士がつながりを持てた。しかし、現在の小学校2年生のように、コロナ禍で入学した子供は、一度も友人が家に来たことも、友人宅に遊びに行ったこともないと聞いた。子供たちがとても不憫であり、一刻も早く通常の学校生活が取り戻せれば不登校も減ると思う。友人関係も希薄になっており、子供たちにとって非常に悲しいことである。早期の解消を願うばかりである。
- 奥村教育長 学校の表れが何かあるか。
- 学校教育課長 県教育委員会のいじめの結果分析等を見ると、いじめの減少を子供たちの日常的なやり取りの激減が原因の1つと位置づけている。子供たちが日頃のちょっとした接触の中で、からかいや意地悪、叩かれたと感じる場面も生じる。これだけ数が減少したのは、普段の子供同士の関りが実際に少ない現状があると考えられる。コロナ禍の制約の中で、学校では、何とか子供たちが楽しめる工夫した行事や取組を行っている。現在感染者数が減少している中で、各学校で行事を一気に進めている。今後の学校教育では、子供たちの関りを大切に考えていく必要がある。
- 奥村教育長 市立高校長、状況はいかがか。
- 市立高校長 昨年度本校中等部で行ったいじめのアンケートでは、2年生より1年生、3年生より2年生の方がからかわれている、仲間外れにされている、という数が多い。自分についてどうか、周りの人はどうかという設問では、本校の特徴かもしれないが、周囲がちょっとからかわれていると思っても、本人の自覚はなく、報告をしない。不登校に関しては、少なからず本校にもいる。その理由として、コロナ禍で友人の家に遊びに行けない、仲間意識の希薄化、行事が減少し学校の魅力を感じない、家庭環境を含めた要因等がある。申し訳ない言い方になる

が、1人1台端末の学校での有用性とは裏腹に、学校に行かずとも授業をオンラインで視聴できる。現在感染者数が少ないため、文化祭、体育祭、合唱発表会等、やれる範囲で行事を進めることで学校の魅力を高め、生徒がいろいろな探究を含めて、興味を持てる活動を模索して行いたい。

奥村教育長 様々な状況の中で、何もかもできないではなく、どういう形であればできるのかを昨年から各学校で模索している。縮小や自粛はしているが、やらないことからやれることをやりながら、徐々に正常化に近づけている。早く通常の生活を取り戻したいが、まだまだ油断はできない。我々は子供たちを一人も取りこぼさず、大切に見ていくことが重要である。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項5 第3次沼津市子ども読書活動推進計画（案）に係るパブリック・コメントの実施について

＜現行の「第2次沼津市子ども読書活動推進計画」を改訂し、新たに「第3次沼津市子ども読書活動推進計画」を策定することから、本件に係るパブリック・コメントを令和3年12月23日から令和4年1月25日まで実施する。＞  
(図書館事務長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。  
佐藤委員 図書館から少し離れるが、赤ちゃんへの絵本のプレゼントはとてもよいことだと思う。学校にも図書室があるが、学級文庫は、今もあるのか。  
学校教育課長 各学級に図書を置き、図書室に行かなくても本が読めるようにしている。  
奥村教育長 高校はいかがか。  
市立高校長 本校にも学級文庫はある。  
佐藤委員 一番簡単に本を手にするのは学級文庫だと思う。小学生の時に、友人と競うように『シャーロック・ホームズの冒険』というシリーズを読んだのは、学級文庫がきっかけであったので、今はどうなのかと思い、質問した。  
学校教育課長 補足する。そういった本も何冊か常時置いてあり、固定しないように入れ替えもする。子供たちが直接図書室へ行って本を借りることも行い、いつも子供たちが手元に何冊も本を持っているようにしている。  
佐藤委員 地区センターに図書室があり、市立図書館で借りた本をそこで返却できる。とてもよい取組であり、活用している。  
図書館事務長 約2年前から行っている。まだ知らない方もいるので、さらに周知したい。  
奥村教育長 パブリック・コメントの募集は、どこで行うのか。  
図書館事務長 市役所2階の生活安心課、地区センター、図書館、ホームページでパブリック・コメントを募る。  
奥村教育長 ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項6 令和3年度全国学力・学習状況調査について

＜令和3年5月27日に全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について検証改善委員会を実施し、沼津市の分析結果と今後の授業改善に生かすための取組をまとめた。小学校国語では、目的や意図に応じて資料を使って話す力が身につけているが、文章と図表とを結びつけて必

要な情報を見つけることに課題がある。小学校算数では、図形の構成を捉え面積を求める力が伸びているが、グラフで示された複数のデータを比較し、特徴や傾向を捉えることに課題がある。また、中学校国語では、物語の内容や登場人物の関係性を捉える力が身につけているが、相手や場に応じた敬語の使い方に課題がある。中学校数学では、図形の定義について、図形が成り立つための構成条件を用いて説明する力が身につけているが、データの傾向を的確に捉え数学用語を活用して説明することに課題がある。質問紙調査では、小中共通で、地域行事への参加割合が高い、授業の中でICT機器の使用頻度が高い、規則正しい生活習慣が身につけていない割合が高いという結果であった。分析結果の資料を各校に送付した。全職員が資料を活用して子供の実態を把握し、授業改善を図るよう市教委で働きかけを行っていく。結果をまとめたリーフレットは、12月末までに調査を行った小学校6年生と中学校3年生だけでなく、来年度調査を控えている小学校5年生と中学校2年生にも広げ、保護者を中心に配布する予定である。小学校6年生と中学校3年生には、さらに各校で分析した結果資料も同時に配布予定である。>

(研修センター所長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。いろいろな傾向が見られたが、本件に関する御意見、御質問等いかがか。

重光委員 学力テストの結果や傾向は各児童生徒の結果であり、そのまま受け止めるが、子供の勉強を見ていると、計算問題や漢字など、そのまま解く、覚えているものを書く問題は結構簡単に行う。しかし、文章題を読んで理解し、自分で式を導き解答までたどり着くことにとっても苦勞する傾向がある。それは言語能力の問題か、それとも学校で式を考えて作る過程をあまりやっていないかのどちらかだと思う。今回の分析結果と子供の苦手分野が一致しており、皆そうなのかという思いもあるが、やはり学校でそこを指導してほしい。世の中に出ると簡単に答えが出ないことが多いため、答えを導き出す指導に重点を置き、頭を働かせるトレーニングを学校でも積んでもらえると保護者として非常にありがたい。

教職員研修センター所長 我々教職員研修センターは、学校教育課と連携を取り、授業改善について先生方に投げかける必要があると考えている。御指摘の知識活用の部分、読解力を使った学習の部分、その辺りを授業にどうやって取り入れるか、授業づくりを考えなければならない。今年度はコロナの関係であまり実施できなかったが、計画訪問という学校教育課と教職員研修センターの指導主事が学校に行く訪問指導がある。来年度は実際に先生方の授業を見て、共に考えながら授業改善を進めていきたい。

奥村教育長 毎年この調査を受ける子供たちは変わるが、小学校6年生が、3年後に中学校3年生で調査を行うため、このスパンでは経年結果がわかる。平均正答率の比較にはどんな意味があるのかと思うが、国と県の平均を比較すると、小学校6年生の段階と中学校を卒業する3年生の段階では、定着度が伸びている。これは静岡県の傾向であり、沼津市も同様である。問題は、毎年調査を受ける子供たちは違うが、同様の課題が出ることである。分析結果をPDCAサイクルにより、対象の子供たちに対する指導改善だけでなく、次の年の子供たちも同様

の課題があると考え、改善していくべきである。どの学年でも重光委員が指摘した部分に苦手意識を持つ子供が多いため、先生方がどのように授業改善をするかに、より力を入れるべきである。10年以上続けてきた言語科の成果は、確実に結果に表れている。毎年同じような課題が出ることは、その部分の取組がまだまだ甘く、切り口を変えた努力が必要であることを意味する。しかし、小学校6年生の頃よりも中学校3年生になった時に確実に指導の成果が出ていることは、大きな実績である。そこは自信を持っていただきたい。これだけ詳細な分析を行っているので、これを生かしていきたい。保護者にも意識づけを行い、家庭と学校が子供たちにつけたい力を共有し、協力することが大切である。是非ともPDC Aサイクルを活用し変革してほしい。

土屋委員 重光委員と同様の意見だが、知識で出せる答えは、努力により知識を重ねることで解決でき、正答が出せる。創意工夫や考える力は、要するに知恵である。知識ではなく知恵を向上させる教育は個人差もあるためとても難しいと思うが、重点を置いて取り組んでほしい。それが、子供たちが将来に必要な人間力をつけることにつながる。

佐藤委員 IT機器を日々便利に活用している。学校教育の場もそれらを生かす方向で動いているが、それに偏ってはいけない。何年か前に辞書を調べる勉強法が取り沙汰され、辞書で言葉を調べるとそれに付属して前後の言葉、自分が知らなかった言葉を発見する良さがあると聞いた。文章と図表を結びつけて必要な情報を見つけることも、やはり読解力がないとできない。読解力はどうやって身につくかという、やはり、調べてすぐに答えが出るものを使うよりも、本を読む等、これまで我々が大切にしてきた文化や教材を活用して身につける必要があると思う。自分の手でページをめくり、文字を書くことの重要性を忘れず、教育の中でそれらをないがしろにしないでいただきたい。

奥村教育長 不易と流行の部分で、アナログとデジタルの組み合わせを我々は忘れてはならない。どちらかに偏ってはいけないという御指摘をしっかりと受け止めたい。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。ほかになれば、本日の定例会を終了する。

午後4時52分 閉会